

山形県多文化共生推進プラン【概要】

目指す姿

日本人も外国人も、お互いを認め合い、
地域を構成する一員として共に活躍できる「やまがた共生社会」の実現

位置付け

- (1) 「山形県総合発展計画実施計画」における分野別個別計画
- (2) 「第2次山形県国際戦略」（取組みの基本方向「地域の国際化」）の後継計画

計画期間・ 進捗管理

- (1) 計画期間は令和7（2025）～11（2029）年度の5年間とする。
- (2) 県は、本プランに基づく施策の実施状況について、**毎年度、公表**する。有識者等で構成される山形県多文化共生推進委員会（仮称）を設置し、施策の点検・評価とともに委員会からいただいた意見・提言を踏まえ、**必要に応じて計画の見直しを行う**。

施策の柱1

国際交流・国際協力の推進

- (1) 姉妹友好都市や県人会等との様々な分野での交流及び国際協力の促進
- (2) 若者のアウトバウンドの促進
- (3) 国際理解教育・外国語教育の充実
- (4) 行政職員の海外派遣の推進
- (5) 人的交流を通じた信頼関係をベースとした関係性の発展



施策の柱2

外国人材の受入・定着の促進

- (1) 外国人材の活躍事例の周知
- (2) 大学や企業等と連携した外国人材の呼び込み・県内就職促進
 - 留学生の受入・定着
 - 労働者の受入・定着
 - 業種別

施策の柱3

日本人も外国人も安心して暮らせる環境整備

- (1) 一元的な相談体制の整備・充実
- (2) 日本語学習環境の整備促進 **重点**
- (3) くらしの環境整備の促進 **重点**
 - 情報提供 ○災害 ○医療
 - 出産・子育て ○住宅 ○教育

施策の柱4

地域における日本人と外国人の 相互理解・交流の促進 **重点**

- 多文化共生に向けた機運醸成を図るイベントの充実
- 外国人との円滑なコミュニケーションに向けた日本人向けの「やさしい日本語」の普及啓発など

重点プロジェクト①

【モンゴルからの人材受入推進】

大学と連携した留学生等
高度外国人材の受入ルートの開拓

重点プロジェクト②

【日本語教室開催推進】

外国人が生活に必要な日本語を学習
するための環境整備

重点プロジェクト③

【多文化共生の担い手の連携推進】

県内全域での多文化共生の機運醸成

重点プロジェクト④

【県立高校における 多文化共生社会への対応】

高校生の多文化共生への理解の促進
と山形の魅力の再発見・再認識